

平成23年度

東郷町「外部評価」

～1日目～

平成23年10月15日(土)

〔本日のスケジュール〕

	時間	事業名	担当課
1	9:10～10:00	町民納涼まつり開催事業（ヒアリング）	教育部 生涯学習課
2	10:10～10:40	同上（意見交換会）	
3	10:50～11:40	障害者(児)交流事業（ヒアリング）	福祉部 福祉課
4	11:50～12:20	同上（意見交換会）	

会場：東郷町役場 2階 大会議室



目 次

1	平成23年度 東郷町「外部評価」について	1
2	人件費の算出方法について	2
3	外部評価対象事業「町民納涼まつり開催事業」関係資料	3
(1)	担当課説明資料	4
(2)	行政評価シート	6
(3)	事業費説明資料	8
4	外部評価対象事業「障害者（児）交流事業」関係資料	9
(1)	担当課説明資料	10
(2)	行政評価シート	12
(3)	事業費説明資料	14

平成23年度 東郷町「外部評価」について

1 今回の外部評価は、「事業仕分」ではありません。

この「外部評価」は、その場で事業の要否を判断（判定）したり、事業の方向性を決定するものではありません。

次のような目的を持って、町民の皆さんに町民目線で、町が実施している行政評価（内部評価）の再評価をしていただきます。

- ・ 町が実施している行政評価（内部評価）の客観性を高める。
- ・ 町民ニーズを把握し、事業の見直しのきっかけをつくる。
- ・ 町民と行政の相互の理解を深める。

2 評価結果の取扱い

この「外部評価」がきっかけとなり、より多くの町民の方が行政に対して関心を持ち、町民と行政の情報共有の第一歩となればと考えています。

なお、今回の評価結果につきましては、各評価員がそれぞれに評価結果を出していただき、後日、ホームページ等で公表します。

また、評価結果は、今後の事業の実施や予算編成の参考とさせていただきます。

3 なぜ、「外部評価」を公開するの？

行政がどのような意図を持って、どのような事業を実施しているかということ、町民の皆さんに十分理解していただくことが困難な状況の中、事業そのものの必要性、目的、あり方など、外部評価のプロセスを公開することで、町民の皆さんに事業の中身を知っていただくことが重要であると考えています。

このようなことから、外部評価を公開で実施することで、一人でも多くの町民の皆さんに参加していただきたいと考えています。

人件費の算出方法について

行政評価表に出てくる概算人件費について説明します。

(1) 事業別職員数及び概算人件費の把握

行政評価表にある概算人件費については、職員一人当たりの事務量全体を100%として、課員それぞれの当該事業に従事した事務量割合の合計を課全体の当該事業の事務量割合とし、この割合に平均人件費単価及び各課の時間外勤務手当決算額をそれぞれに乗じた額を合計して算出しています。

概算人件費

$$= \text{（平均人件費単価} \times \text{当該事業に従事した事務量の割合）} + \text{（各課の時間外勤務手当の決算額} \times \text{当該事業に従事した事務量の割合）}$$

(2) 平均人件費単価

町長、副町長、教育長及び部長職の職員については、複数の事業にまたがって従事していることから、人件費の算出に当たっては、課長級以下の職員1人に係る年間の平均の金額となります。

なお、平均人件費単価は、町職員に係る①給料、②各種手当（時間外勤務手当を除く。）、③共済費（健康保険など事業主として負担するもの）、④派遣職員負担金（愛知県などから東郷町に派遣されてきている職員に対して負担するもの）を合計したものを職員数で除した金額となります。

（※単純に毎月支払われる給料だけの合計ではありません。）

（一般会計）

項 目	人 数 ・ 金 額
職 員 数 ①	(※) 232.58人
給 料 ②	939,785,146円
各 種 手 当 ③	492,044,835円
共 済 費 ④	447,633,066円
派 遣 職 員 負 担 金 ⑤	24,848,979円
計 (①+②+③+④) ⑥	1,904,312,026
平均人件費単価(職員一人当たり) (⑥ / ①)	8,187,772円

※ 職員数は、育児休暇などの理由により、休職している職員について月単位で減員しているため端数が生じています。

関係資料

〔事業名〕 町民納涼まつり開催事業

〔担当課〕 教育部 生涯学習課

平成23年度外部評価担当課説明資料

1 事業概要

基本施策	Ⅱ-5 地区・世代間の人々の絆を深める交流を推進する
事務事業名	町民納涼まつり開催事業
担当部署	教育部 生涯学習課
根拠	東郷町民納涼まつり実施要項
事業目的	東郷音頭・東郷小唄などをみんなで踊ることで地域の伝統文化の継承と町民相互の交流の促進を図ることを目的として町民納涼まつりを開催する。
事業費	平成23年度予算額 3,610千円
	平成22年度決算額 2,672千円
人員	平成22年度 0.33人 (人件費相当額 2,764千円)
	平成21年度 0.30人 (人件費相当額 2,545千円)

2 事業の内容（事務事業のイメージ等）

(1) 事業概要

地域伝統文化の継承と町民相互の親睦の場として、毎年8月にいこまい館芝生広場周辺で「町民納涼まつり」を開催しています。

また、「商工会夏まつり」と「どろんこまつり」を同日に開催することで、町民レガッタと並び夏の一大イベントとして定着しつつあります。

(2) 指標の概要

- ・活動指標（実行委員の数）

【指標の選定理由】

まつりをより効果的なものとするために実行主体である実行委員会の委員を指標としました。

平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
25人	24人	19人	19人

- ・成果指標（納涼まつり入場者数）

【指標の選定理由】

イベントの成果を図るために一番判断しやすい来場者数を指標としました。

平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
10,000人	11,000人	11,000人	11,000人

(3) 事業のイメージ



4 評価の論点

<p>必要性・役割分担の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年約1万人の来場者で賑わい、町民が一堂に会することのできる、数少ない町をあげてのイベントの一つです。 ・地区の盆踊りが各地区で実施されており、町が統一して行う必要性が薄れているという町民の声もあります。
<p>有効性の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・踊りに若い世代が関われるような工夫が必要です。
<p>効率性・実施手段の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会場のキャパシティを超える来場者があり、駐車場も不足しています。 ・臨時バスの運行体制、警備体制については前年度の実績を検証して必要最小限の経費で実施しています。 ・夜間の開催となるため、関係職員の時間外勤務が発生しています。

一般事業評価表（平成 22年度）

（作成日：平成 23年 7月 1日）

I. 一般事業の目的体系

1 事業名	町民納涼まつり開催事業		コート	会計	款	項目	大	中
2 担当部課	教育部	生涯学習課		01	10	04	02	02
3 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：5 地区・世代間の人々の絆を深める交流を推進する							
	施策の展開方向：(3) 町民相互の絆を深める							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	納涼まつり来場者					
2 働きかける相手(対象)	町民					
3 どのような状態にしたいのか(意図)	「東郷音頭」「東郷小唄」をみんなで踊ることを通じて、地域の伝統文化が伝承されるとともに町民相互の交流が促進する。さらに、行政主導ではなく、住民中心・民営の「まつり」へと移行していきます。					
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>町民納涼まつり開催事業 東郷音頭、東郷小唄等を踊り、諸輪の囃太鼓や現代和太鼓を楽しみ、コミュニティを広めていくため、町制施行40周年記念事業第32回町民納涼まつりを実施しました。 なお、同時に商工会が夏まつりとして飲食店の出店及び打上花火を実施しました。</p> <p>(1) 開催日：平成22年8月15日（日）午後6時～午後9時</p> <p>(2) 参集人員：11,000人</p> <p>(3) 運営委員会：6月30日 4名（構成団体4団体）</p> <p>(4) 実行委員会：7月22日 19名（構成団体8団体）</p> <p>(5) まつり参加団体（協力団体8団体） 東郷町文化協会、東郷町商工会、東郷音頭保存会、あいち尾東農業協同組合東郷事業本部、社会教育委員会、区・自治会、愛知警察署、尾三消防本部東郷消防署</p> <p>(6) まつりイベント業務、警備業務、臨時バス運行業務を委託しました。</p> <p>(7) 放送設備等を借りました。</p> <p>(8) 太鼓講習会を開催し、参加者数は9人でした。</p>					
5 活動指標	指標名	まつりのため活動する関係者の人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明 (指標式)	実行委員19人（社会教育委員、文化協会、商工会、東郷音頭保存会、JAあいち尾東、駐在員代表他）	平成19年度	人 25.00	人 個別計画による目標値はありません。	
			平成20年度	人 24.00	人	
			平成21年度	人 19.00	人	
平成22年度			人 19.00	人		
6 成果指標	指標名	納涼まつり入場者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 会場規模等から見た最大人数(8,000人)を目標とする。
	指標の説明 (指標式)	納涼まつり開催中の会場内延べ人数	平成19年度	人 10,000.00	人 8,000.00	
			平成20年度	人 11,000.00	人 8,000.00	
			平成21年度	人 11,000.00	人 8,000.00	
平成22年度			人 11,000.00	人 8,000.00		
7 直接事業費計	前年度決算額	2,643,437 円	決算額	2,672,201 円		

8 コストの推移	項 目	平成 21 年度	平成 22. 年度	対前年比	平成 23 年度	評価の符号
	直接事業費① (②+③+④)	2,643,437	2,672,201	101.1 %	3,610,000	
一般財源②	2,643,437	2,672,201	101 %	3,610,000		
起 債 ③	0	0	0 %	0		
そ の 他 ④	0	0	0 %	0		
概 算 人 件 費 ⑤	2,545,771	2,764,416	108.6 %			
総 合 計 (① + ⑤)	5,189,208	5,436,617	104.8 %			
町 費 投 入 額 (② + ③ + ⑤)	5,189,208	5,436,617	104.8 %			
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	273,116	286,138	104.8 %			
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	472	494	104.7 %			

Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 特にありません。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0 %		○
	②成果指標の実績向上度	0 %		○
	③成果指標の目標達成度	37.5 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	4.8 %		△
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		6 改善や創意工夫を行った内容やその効果、新規事業等 臨時バスの借用台数を減らし、運行終了後の巡回バスを活用して経費の削減を図りました。 盆踊り時に子どもがやぐらに上られる時間をさらに増やし、好評を博しました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		

7 総合評価	8 総合評価コメント
・ 継続実施 <input type="checkbox"/>	商工会の夏まつりやどろんこまつりと開催日を統一していることで町民納涼まつりも大変盛り上がりました。 年々まつりの来場者が増加し、会場内も満員状態であり、駐車場も不足しているため、駐車場の確保について検討する必要があります。
・ 一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>	
・ 抜本的見直し <input type="checkbox"/>	
・ 他事業と統合 <input type="checkbox"/>	
・ 休廃止 <input type="checkbox"/>	

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

1 本年度(平成 23 年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(平成 24 年度)以降の方向性	町民相互が親睦を深めることのできる町をあげての数少ないイベントとして引き続き開催したいと考えています。一方で、各区・自治会での「地区盆おどり」が盛況となっており、町全体で統一して行う役割は薄れているとの声もあることから、併行して地区での地域交流・コミュニティ施策の支援に切り替え移行していく方法も研究していく必要があります。 また、商工会の夏まつりと開催日を統一していることから、これまで以上に商工会との連携を深め、町民がより気軽に参加でき、交流を深める場の提供に努めていきます。

■町民納涼まつり開催事業 事業費説明資料

平成22年度決算額：2,672,201円

[内訳]

	節	H22 予算額	H22 決算額	H23 予算額	主な内容
①	8節 報償費	32,000円	25,111円	26,000円	納涼まつりにおける太鼓の講習会に係る講師謝礼金などを支払いました。
②	11節 需用費	38,000円	22,560円	38,000円	納涼まつりで使用する消耗品及び協力者へのお茶等を購入しました。
③	12節 役務費	64,000円	64,000円	64,000円	納涼まつりの開催に係る普通傷害保険料を支払いました。
④	13節 委託料	2,572,000円	1,692,180円	2,613,000円	納涼まつり会場周辺の警備委託業務及び会場設営業務に係る委託料を支払いました。
⑤	14節 使用料及び賃借料	827,000円	868,350円	869,000円	納涼まつりの放送設備等の賃借料及びまつり当日の臨時シャトルバスの使用料を支払いました。

關係資料

〔事業名〕 障害者(児)交流事業

〔担当課〕 福祉部 福祉課

平成23年度外部評価担当課説明資料

1 事業概要

基本施策	I-3 誰もが安心して自立した生活ができる社会をつくる
事務事業名	障害者（児）交流事業
担当部署	福祉部 福祉課
根拠	—
事業目的	心身障がい者（児）に社会参加の機会をつくり、お互いの親睦と健康の維持増進を図ります。
事業費	平成23年度予算額 884千円
	平成22年度決算額 654千円
人員	平成22年度 0.18人（人件費相当額 1,489千円）
	平成21年度 0.19人（人件費相当額 1,593千円）

2 事業の内容（事務事業のイメージ等）

(1) 事業概要

日頃、行動範囲に制限を受けやすい障がい者や障がい児の社会参加の機会をつくり、互いの親睦と健康の維持及び増進を図るために、身体・知的・精神のそれぞれの障がい者団体の加入者を対象として平成7年度から観光バス2台とリフトバス1台を利用した日帰りバス旅行を年に1回実施しています。また、入場料及び食事代相当分を目安に、参加者から負担金を徴収しています。

(2) 指標の概要

- ・活動指標（参加した障がい者（児）及び付添者の人数）

【指標の選定理由】

事業の必要性を計るためには、参加人数を指標とすることが適切と考え採用しました。

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
111名	121名	104名	77名	71名

- ・成果指標（参加者アンケートで「よかった」「普通」と回答した参加者割合）

【指標の選定理由】

事業の有効性を計るためには、満足度を指標とすることが適切と考え採用しました。

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
96.30%	97.00%	100.00%	98.60%	97.78%

(3) 事業のイメージ（写真、イラスト等の活用）

<過去の行き先>

- H22 長野県 伊那谷道中とりんご狩り
- H21 セントレアと名古屋港水族館
- H20 みかん狩りとうなぎパイ工場見学
- H19 静岡県 大井川鉄道



りんご狩り



バスの車いす用乗降機



長野県 伊那谷道中での記念撮影（H22.11月）

4 評価の論点

<p>必要性・役割分担の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行程や介助に特別な配慮が必要なため、外出が制限される障がい者にとって、気軽に、かつ、安心して参加できる機会であると楽しみにしている事業です。 ・ 障がい者団体への加入を促すために、対象者を団体加入者に限定しています。 ・ 介護者として参加することによって、民生委員児童委員が「障がい」の理解を深める機会となっています。
<p>有効性の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加人数が年々減少傾向にあるため、行き先の選定や、実施時期について工夫する必要があります。 ・ 介助者同伴の参加のため、障がい者の参加者数は、参加者のうち7割程度であり、東郷町全体の障害者手帳所持者数からみると5%弱になっています。 ・ 参加者の満足度は、過去3年間の平均で98.79%と満足度が高い事業です。
<p>効率性・実施手段の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入場料及び食事代相当分を目安に、参加者から負担金を徴収しており、受益者負担は妥当と考えています。

一般事業評価表（平成 22年度）

（作成日：平成 23年 6月 28日）

I. 一般事業の目的体系

1 事業名	障害者(児)交流事業					コード	会計	款	項目	大	中
2 担当部課	福祉部	福祉課	01	03	01		01	11	-		
3 総合計画の 施策体系	基本目標：目標I 健康で元気に暮らせるまち										
	基本施策：3 誰もが安心して自立した生活ができる社会をつくる										
	施策の展開方向：(1) 障がい者福祉サービスの充実										

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	バスハイキングに参加した心身障がい児・者及びその家族
2 働きかける相手(対象)	心身障がい者・児とその家族、ボランティア
3 どのような状態に したいのか(意図)	日頃の行動範囲に制限を受けてしまう障がい者に社会参加の機会を通じて社会経験を積んでもらうとともに、互いの親睦と健康の維持増進を図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	障害者(児)交流事業 参加者の希望を参考に行き先を決定し、バスハイキングを実施しました。 (1) 実施日 平成22年11月28日(日) (2) 参加人数 71人 (3) 行先 長野県飯田市 伊那谷道中とリンゴ狩り				

5 活動指標	指標名	バスハイキング参加者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明 (指標式)	参加障害者及び障害者の付き添い者(事務局を除く)	平成19年度	人 121.00	人 個別計画による目標値はありません。	
			平成20年度	人 104.00	人	
			平成21年度	人 77.00	人	
平成22年度			人 71.00	人		
6 成果指標	指標名	バスハイキング参加満足度	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
	指標の説明 (指標式)	参加者に実施したアンケートでバスハイキングが「よかった」「普通」と回答した参加者の割合	平成19年度	% 97.00	% 96.30	前年度実績
			平成20年度	% 100.00	% 97.00	
			平成21年度	% 98.60	% 100.00	
平成22年度			% 97.78	% 98.60		
7 直接事業費計	前年度決算額	625,028 円	決算額	653,136 円		

8 コストの推移	項 目	平成 21 年度	平成 22 年度	対前年比	平成 23 年度	評価の符号
	直接事業費① (②+③+④)	625,028	653,136	104.5 %	884,000	
一般財源②	471,028	511,136	108 %	884,000		
起 債 ③	0	0	0 %	0		
そ の 他 ④	154,000	142,000	92.2 %	0		
概 算 人 件 費 ⑤	1,592,547	1,488,196	93.4 %			
総 合 計 (① + ⑤)	2,217,575	2,141,332	96.6 %			
町 費 投 入 額 (② + ③ + ⑤)	2,063,575	1,999,332	96.9 %			
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	26,800	28,160	105.1 %			
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	20,929	20,447	97.7 %			

Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	△	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 長野県飯田市伊那谷道中の見学とリンゴ狩りを実施しました。リンゴの収穫時期に合わせて、実施時期を例年より1か月遅らせたため、寒い季節(11月下旬)となってしまうことが、主に身体障がい者の参加減少につながりました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	△		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-7.8 %		△
	②成果指標の実績向上度	-0.8 %		△
	③成果指標の目標達成度	-0.8 %	△	
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-3.1 %	○	6 改善や創意工夫を行った内容やその効果、新規事業等 見守りのため民生委員児童委員に同行していただき、保護者同伴が必要な方も一人で参加することができました。見学先については各障がい者団体の方と危険箇所や不自由な施設がないかを事前に視察し、決定しました。
	②受益者負担は適切ですか。		△	
4 改善余地	① 意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		

7 総合評価	8 総合評価コメント
・ 継続実施 <input type="checkbox"/>	障がい者団体及び家族だけでは、なかなか味わうことが出来ない交流の機会を作ることができる数少ない事業であると共に、参加者の方が、例年楽しみにしている事業です。また、この事業は、障がい者の社会参加の機会を増やすと共に、障がい者同士交流を図る場にもなっています。しかし、参加者の固定により、ここ数年、参加者の減少傾向が見られます。 今後、障がい者団体と事業の目的を確認しながら、事業の継続や開催方法について検討を進めていきます。また、参加に伴う受益者負担の範囲についても、明確にする必要があります。
・ 一部見直し <input type="checkbox"/>	
・ 抜本的見直し <input checked="" type="checkbox"/>	
・ 他事業と統合 <input type="checkbox"/>	
・ 休廃止 <input type="checkbox"/>	

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

1 本年度(平成 23 年度)の改善内容	見学先について障がい者団体と十分な検討をし、多くの参加を呼びかけます。
2 来年度(平成 24 年度)以降の方向性	年々参加者が減少していることから、障がい者団体の意向等を確認しながら、事業の実施について休廃止を含めた検討が必要です。

■障害者（児）交流事業 事業費説明資料

平成22年度決算額：653,136円

〔内訳〕

	節	H22 予算額	H22 決算額	H23 予算額	主な内容
①	9節 旅費	20,000円	8,800円	20,000円	心身障がい者バスハイキング随行に係る職員旅費を支払いました。
②	11節 需用費	227,000円	113,426円	227,000円	障害者スポーツ大会に係る参加者の昼食代(19,661円)及び心身障がい者バスハイキングに係る参加者の昼食代(88,200円)を支払いました。また、心身障がい者バスハイキングに係る写真現像代を支払いました。
③	12節 役務費	13,000円	8,400円	13,000円	心身障がい者バスハイキングに係る傷害保険料を支払いました。
④	14節 使用料及び賃借料	624,000円	522,510円	624,000円	心身障がい者バスハイキングに係るバスの使用料、リング狩り等の施設入場料などを支払いました。



〔事務局〕

東郷町役場企画部企画情報課

電 話：0561-38-3111（代表）

内 線：2324

メール：tgo-kikaku@town.aichi-togo.lg.jp

